

別紙

質 問	回 答
<p>(1) 委員長の選出について</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>・委員長については、本年4月、委員の互選により、角田委員に決定しております。</p> <p>(1) 京滋地区4国立大学法人において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務に係る、審議案件の抽出と最終決定について</p> <p>(2) 審議案件に対する審議</p> <p>(3) その他</p>	<p>(委員一同承諾)</p> <p>(委員一同承諾)</p> <p>(P2以降に記載)</p> <p>なし</p>

別紙

質 問	回 答
<p>滋賀大学:(あかね) 教育学部附属特別支援学校校舎便所改修工事(点検事項①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・本工事における入札参加者が1者のみであったことについて、早期に発注することは今後に向けて改善策になるのでしょうか。</p> <p>・毎年、同時期に発注しているのでしょうか。</p> <p>・参加資格にある施工実績について、建物用途に「学校施設、公共施設」という基準を設けられていますが、より多くの業者に参加してもらうという観点から見れば、この要件は必須のものでしょうか。</p>	<p>・辞退した業者に理由を問い合わせたところ、同時期に技術者が別の工事を専任することになったため参加を見合わせたとの回答がありました。発注の時期を見直すことで、技術者の確保に繋がるのではないかと考えています。</p> <p>・できる限り、学生がいない休業期間中に集中して工事を実施したいという考えはあります。時期を前倒しすることは可能ですが、遅らせることは難しいと思われまます。</p> <p>・本工事は建物利用者に配慮しながら工事を進める必要があるという点から、学校等の施工実績がある業者が相応しいと考え、参加要件に設定しました。</p>

別紙

質 問	回 答
<p>滋賀大学:(石山) ライフライン再生 (空調設備 I) 設計業務(点検事項①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2者が技術提案書の提出を辞退されていますが、辞退された理由をどのように把握されていますか。 ・参加資格を周知していたにも関わらず、富山県の業者が参加された理由は何でしょうか。 ・簡易公募型プロポーザル方式(拡大)から一般競争入札方式に移行されていますが、初めに簡易公募型プロポーザル方式(拡大)で募集すると判断した理由は何でしょうか。 ・入札参加者数を2者以上見込んでいたということですが、その根拠は何でしょうか。 ・新型コロナウイルスの蔓延による影響はありましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者に問い合わせたところ、設計業務の履行期間が3か月弱と短かったため辞退したとの回答がありました。 確認できておりません。今後は参加資格における地域要件の範囲を拡大することを検討しています。 ・コスト削減や省エネに関する提案等、大学にとってメリットがあると考えプロポーザル方式を選択しました。 ・複数の業者に受注状況等を確認し、少なくとも2者以上の参加が見込まれると考えました。 ・現地を頻繁に見に行くことについての制限はありましたが、履行期限に関わるような影響はありませんでした。

別紙

質 問	回 答
<p>滋賀医科大学:(瀬田月輪) 附属病院 多用途型トリアージスペース新営そ の他工事 (点検事項②)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・入札金額と予定価格が完全に一致することは極めてまれなことであると思われませんが、何か要因があるのでしょうか。</p> <p>・技術力に係る評価点について、落札者の点数が最も低くなっています。点数の低い者が落札者となり、さらに入札金額と予定価格が一致しているとなると、第三者から見れば問題ありと判断されかねません。その辺りはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>・落札者との取引実績はこれまでにありましたか。また、工事の出来はいかがでしたか。</p> <p>・入札参加見込 5 者のうち、2 者が入札を辞退した理由は何でしょうか。</p>	<p>・総額の一致は偶然としか言いようがありません。数量公開は行っていなかったため、数量や単価にずれはありました。</p> <p>・落札者については、文科省による指名停止の措置を受けたことにより、コンプライアンスの評価項目でマイナスの点数が付いております。指名停止の原因は、入札価格の積算に誤りがあったことを理由に辞退し、入札手続きに遅延を及ぼしたことです。総額の一致は偶然としか言いようがありません。</p> <p>・落札者との取引実績はありません。なお、標準レベルには施工していただいたと思っています。</p> <p>・全者に確認できていませんが、別の入札工事を落札しており、技術者を確保できなかったと聞いています。</p>

別紙

質 問	回 答
<p>滋賀医科大学：(医病) MRI-CT 施設改修機械設備工事（点検事項②）</p> <p>（担当者より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札者との取引実績はありますか。また、業者の仕事ぶりについてお聞かせください。 ・入札価格について、落札者以外の業者は予定価格より高くなっていますが、落札者とその他の業者で情報格差はなかったのでしょうか。数量公開をされていないため、初見の業者は見積を立てることが難しかったのではないのでしょうか。 ・令和3年度の審議対象工事において、本工事の落札者が応札した案件のうち落札できなかったものはありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、本学動物棟の入札工事に参加し、応札いただいています。仕事ぶりについては、患者様が居ながらの作業であるところをしっかりと現場調整していただいています。 ・工事内容としては病院設備のごく一般的なものであり、初見でも格差が出るような案件ではないと考えております。MRI-CT 施設の工事ということで、業者は現場経費がかかると考え、金額を必要以上に上乗せされる場合があるとも考えられます。 ・落札できなかった工事もございます。

別紙

質 問	回 答
<p>京都教育大学:(越後屋敷) 囲障等改修工事 (点検事項①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・入札参加者数を2者で見込まれていますが、2者は少ないのではないのでしょうか。参加要件を拡大してはいかがでしょうか。</p> <p>・公告の時期を早めることが参加業者数を増やすことに繋がると思われますが、その辺りはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>・キャンパスがまたがっている場合、同じような種別の工事について、まとめて発注するというようなことは可能なのでしょうか。</p>	<p>・2者というのは、参加申請者数であり、公告段階ではもう少し多くの業者に参加いただけると想定していました。参加条件は、建築一式の等級を B、C、D とし、施工実績においても公共工事や面積要件を外す等、より多くの業者に参加いただけるよう門戸を広げていました。</p> <p>・当初は年明けから実施予定の工事でしたが、1か月早めて工事を発注しましたが、ただ、結果として参加者は2者のみであったため、今回のことを踏まえて今後対策を検討したいと考えております。</p> <p>・キャンパス間の距離等を踏まえ、同じ工種の工事をまとめて発注することも可能です。</p>

別紙

質 問	回 答
<p>京都教育大学:(井伊掃部) 附属幼稚園園舎改修(設備) 設計業務(点検事項①)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者入札の改善策として他の国立大学法人等と公示の時期が重ならないようにすることが挙げられています。他大学の発注状況を共有するシステムというものはあるのでしょうか。 ・補助金の内示が出た段階で各大学が準備開始となると、公示時期をずらすことは難しいため、参加要件を広げることも検討いただければと思います。 ・設計業務と管理業務を合わせて発注することで、より多くの業者から手が挙がるということはないのでしょうか。 ・設計業務と工事本体からその後の維持管理までを合わせて発注する等、発注単位を大きくすることは検討されていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省から施設整備費補助金の内示がございますので、そこから各大学の発注状況を予想することは可能です。 ・参加要件を広げることも検討したいと思います。 ・施設整備費補助金により設計費をいただいで事業を実施していますが、管理費を確保することが予算的に厳しく、管理業務は基本的に各大学の技術職員が担当しています。 ・文科省の予算は単年度であり、設計施工及び維持管理一括発注方式を取るのには難しいと考えています。

別紙

質 問	回 答
<p>京都工芸繊維大学:(松ヶ崎)10号館屋上太陽光基礎設置工事(点検事項⑤)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <p>・防水工事を発注した段階(2018年度)では、太陽光発電パネルの基礎設置工事(2019年度)を実施すること自体は把握されていたのでしょうか。</p> <p>・随意契約した場合と、防水保証を放棄し一般競争入札を行うとした場合とで、コスト比較はされましたでしょうか。</p>	<p>・防水工事を発注した時点では、太陽光発電パネルの基礎設置工事を含む10号館全体の改修工事を文科省に施設整備費として要求中でした。</p> <p>その予算がついてから、本工事と防水改修を一緒に実施できればよかったのですが、雨漏りがひどく早急に対応する必要があったため、学内予算により先に防水改修を行うこととなりました。</p> <p>・基礎の値段を査定し、国の積算基準に基づき予定価格算出を行ったところ高額とはならなかったため、防水保証を放棄してまで一般競争を行うメリットはないと考えました。</p>

別紙

質 問	回 答
<p>京都工芸繊維大学:(松ヶ崎)総合研究棟改修(工学系)(10号館Ⅱ期)(建築)設計業務(点検事項⑧)</p> <p>(担当者より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易公募型プロポーザル方式の手続について、技術提案書の特定の際は、1者に特定するのでしょうか。 ・多くの参加業者を集めることができたのは何故だとお考えでしょうか。 ・業者の興味を引くポイントがあったのではないのでしょうか。他大学の参考になる点があれば、ご教示いただければと思います。 ・参加業者は、いずれもこれまでにお付き合いのある事務所なののでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落札者が辞退する可能性を考慮して、次順位の業者も特定しています。 ・早い段階で公示したことにより、業者が手を挙げやすかったのではないかと考えています。また、設計内容も比較的やりやすいものであったと推測します。 ・早い時期に公告したこと以外に特に工夫した点はございません。 ・半分程度は契約実績のある業者です。